

1. 本業務の概要

インターネット経由でファイルを送受信できるクラウドサービスを導入する。

2. 予定数量

最大794/月アカウントまで利用できること。

3. クラウドサービス要件

(1) データセンターについて

①建物全般に関すること

- ・日本国内に所在すること。
- ・建築基準法に規定する耐震構造建築物であるとともに、耐火性能も有し、防火対策・水害対策の措置が施されていること。
- ・震度6クラスの地震発生時にもサービス提供可能な、耐震または免震構造であること。
- ・落雷発生時の避雷設備、機器に対する雷サージ保護等の雷対策を講じていること。
- ・自動火災報知設備、消火設備、非常照明設備等が設置されていること。
- ・複数データセンターでデータをバックアップする等、重大障害時の冗長化対策を講じていること。

②セキュリティに関すること

- ・建物の出入り口に防犯対策が講じられていること。
- ・個人レベルでの認証機能、または有人警備等のセキュリティが施されていること。
- ・24時間365日の監視体制で、入退室者を識別・記録できるセキュリティ設備等により、入退館が管理されていること。

③電力設備に関すること

- ・電源設備は、機器の負荷を考慮した容量であること。
- ・電源供給設備は多重化等の対策を施し、24時間365日、電源を安定して供給できること。
- ・電源の冗長化・UPSの設置等の無停電対策が施されていること。
- ・商用電力の供給が停止した場合でも、非常用自家発電設備等による電力供給が可能であること。
- ・自家発電設備は、無給油で24時間以上の連続運転が可能であること。

④空調設備に関すること

- ・空調設備は、24時間365日の連続運転ができ、温度・湿度を一定に保つことができること。

(2) 保守について

- ・クラウドサービスは24時間365日の運用監視を行うこと。
- ・クラウドサービスの利用に関する問い合わせ専用の窓口を設けていること。

(3) セキュリティについて

- ・通信を暗号化する対策を講じること。
- ・通信経路上にファイアーウォール等のセキュリティ対策を講じること。
- ・クラウドサービスにファイルがアップロードされる際に、ウイルスが含まれていないかをチェック

クが作動すること。また、ウイルスを検出した場合は、アップロードを中止できること。

4. サービス機能要件

(1) 基本機能について

- ・サービス利用者はアカウント ID およびパスワードを使い、専用 WEB サイトにログインできること。なお、専用サイトにアクセス可能なグローバル IP アドレスは制限できること。
- ・サービス利用者は、専用 WEB サイトを使い、ファイル送受信機能を利用できること。
- ・ファイル送受信機能は、一時的なファイルの送信と受信ができることを指す。送受信可能なファイルのサイズは 1GB 以上とする。
- ・ファイル送受信機能のために、財団が利用するディスクの容量は 1GB とする。
- ・ファイルの種類は、WindowsOS で使用できる Office ソフト、PDF、画像、音声、動画とする。
- ・指定のアカウント ID はシステム管理者の機能を有し、利用者のアカウントや設定の作成、変更、削除ができること。

(2) ファイル送信機能について

- ・サービス利用者は、クラウドサービス上にファイルをアップロードできること。
- ・サービス利用者は、クラウドサービスからダウンロード URL 取得でき、指定のメールアドレスに通知できること。
- ・指定のメールアドレスの所有者は、ダウンロード URL にアクセスし、ファイルをダウンロードできること。
- ・サービス利用者は、ファイルのダウンロード期限を設定できること。

(3) ファイル受信機能について

- ・サービス利用者は、クラウドサービスからアップロード URL を指定メールアドレスに通知できること。
- ・指定メールアドレスの所有者は、アップロード URL にアクセスし、ファイルをアップロードできること。
- ・サービス利用者は、専用サイトから、アップロードされたファイルをダウンロードできること。
- ・サービス利用者は、ファイルのアップロード期限を設定できること。

5. その他

- (1) 履行期間の開始までに、操作マニュアルを納品すること。
- (2) 本業務の履行にあたり、受託者は業務上知りえた事項を第三者に漏えいしないこと。
- (3) 本仕様書の内容に疑義が生じた場合、財団担当者と協議すること。